

## 事務事業評価シート（行政改革推進委員会）

資料No.2-5

様式第2号

事務事業名称			
視 点	評 価 項 目	説 明	
妥当性	自治体関与の妥当性	「公共性や公平性」、「他の団体との役割分担」等の視点から市が実施（関与）する理由	
	3 妥当である		
	目的の妥当性	当該事業に対する市民ニーズ、総合計画の上位施策を考慮して目的は妥当なものか。	
	3 妥当である		
	対象（受益者）の妥当性	対象となっている人（モノ）にずれはないか。対象とする範囲は間違っていないか。	
	3 妥当である		
有効性	目標（改善）達成度	指標の単年目標値は達成できたか。指標の長期的目標値は達成できるか。	
	1 低い		
	類似事業の存在	同種・同類の事業を行っていないか。	
	3 存在しない		
	上位施策への貢献度	事業の成果は上位施策の目的達成に貢献しているか。	
1 低い			
効率性	コスト効率	実施手段の適正化、電子化、人員の見直しによりコスト効率は高いか。	
	3 高い		
	実施主体の適正性	民間委託、指定管理者制度などの導入によりコスト削減に努めているか、今後導入することは可能か。	
	3 適正である		
	負担割合の適正性	コスト全体に占める市の負担（補助）割合や受益者負担割合は適正か。	
3 適正である			

【各視点に対する改善の着眼点】

視 点		改 善 の 着 眼 点
妥当性		自治体関与、目的、対象の妥当性に問題なし
有効性		上位施策への貢献度が低ければ、事業の内容が不十分と考えられ、見直しが必要である
効率性		コスト効率、実施主体、負担割合に問題なし

【総合評価の見方】

A	計画どおりに事業を進めることが適当
B	事業の進め方等に改善が必要
C	事業の統合、規模、内容、実施主体の見直しが必要
D	事業の抜本的見直し、民営化、休廃止の検討が必要

【総合評価における今後の方向性の目安】

成 果 の 方 向 性	拡充		B・C	B・C	C
	維持		B	A	
	縮小		C		
	休廃止	D			
	皆減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

総合評価	説明

【今後の方向性】

今後の方向性	
結 論	<p>当該事業の今後の方向性はどうか。</p> <p> <input type="checkbox"/> 拡大基調（コスト拡大、成果拡充）                     <input checked="" type="checkbox"/> 生産性向上（コスト維持、成果拡大）                     <input type="checkbox"/> 効率性向上（コスト縮小、成果維持）                 </p> <p> <input type="checkbox"/> 協働化（コスト縮小、成果拡大）                     <input type="checkbox"/> 現状維持（コスト維持、成果維持）                     <input type="checkbox"/> 縮小（コスト縮小、成果縮小）                 </p> <p> <input type="checkbox"/> 休・廃止（コスト皆減、成果休廃止）                 </p>
	（意見）